

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-34 予防接種事業 □支援部門						
主管課	市民健康課	関連課	学務課・保育課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	感染症の発生予防・予防接種率の向上						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人			
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	39,263人	37,444人	32,915人			
運営資源状況	決算値(千円)	398,942	428,715	269,532	平成24年度分 交付金内訳 ・緊急雇用補助金 1,098千円 ・子宮頸がん等ワクチン接種臨時特例基金補助金 57,068千円 ・子育て支援交付金 (ヒブ・小児用肺炎球菌) 19,419千円 合計 77,585千円		
	(国・県)	58,166	163,931	20,662			
	(負担金等)	19,419	0	0			
	(一般財源)	321,357	264,784	248,870			
	人員配置数	2.5	2.5	2.5			
	人件費(千円)	20,008	21,534	21,988			
	協働のパートナー	医師会・医療機関・保健福祉事務所	医師会・医療機関・保健福祉事務所	医師会・医療機関・保健福祉事務所			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	418,950	450,249	291,520			
	市民1人当りの経費(円)	2,364	2,541	1,646			
	対象者1人当りの経費(円)	10,670	12,025	8,857			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
予防接種率の向上	○	目標値	90%	90%	90%	90%	90%
		実績値	88.40%	90.01%	103.5%	83.3%	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
予防接種事業	398,942千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■ A □ B □ C □ D □ E
	事業の概要	予防接種法に基づく定期予防接種と子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業によるヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチンを公費負担で接種することにより、感染症の発生とまん延を予防する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □ A □ B □ C □ D □ E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	ポリオ予防接種用ワクチンが生ワクチンから不活化ワクチンに9月に変更され、またDPT三種混合ワクチンにポリオ不活化ワクチンが加わった四種混合ワクチンが11月に導入され、接種開始時期により使用可能なワクチンが異なり、複雑になった。そのため、接種控えがおり、ポリオ予防接種の接種率が大幅に低下した。 また、各種予防接種の接種時期が集中する乳児期に、接種回数や接種間隔が厳密に決められたヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種が追加され、接種スケジュールが複雑になっているため、法定の接種間隔で受けることができず、任意接種の扱いとなってしまうことが多くになっている。		
課題解決のための取組	定期接種にはならないものの免疫獲得に支障がないように本市独自に公費負担とし、感染症予防を図る。 実施医療機関への周知と個人通知、広報がまくらやホームページ、就学時健診時等で随時周知徹底を図る。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	水痘、おたふく、B型肝炎、高齢者の肺炎球菌等が国で定期化に向けて検討されている。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		高齢者の肺炎球菌、B型肝炎、水痘、おたふく等のワクチンについても定期化が検討されているため、国の動向を注意していく必要がある。	課長等名 A 市民健康課長 大澤 一則

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
予防接種事業	主な個別事業	99 予防接種健康被害調査委員会報酬	32	0	○	○	○	○
		99 予防接種事故賠償補償保険料	340	339	○	○	○	○
		99 ポリオ集団接種受付事務等賃金	669	241	○	○	○	○
		99 予防接種データ整理臨時職員賃金	1,368	1,089	○	○	○	○
		99 予防接種ワクチン医薬材料費	94,102	95,487	○	○	○	○
		99 予防接種等委託料	171,047	165,292	○	○	○	○
		99 ポリオ医師派遣委託料	2,541	916	○	○	○	○
		99 健康管理システム改修委託料	0	947	○	○	○	○
		99 予防接種データ入力委託料	516	358	○	○	○	○
		99 予防接種費用自己負担金補助金	1,626	998	○	○	○	○
		1423 子宮頸がん等ワクチン接種臨時的任用事務職員賃金	1,781	1,531	○	○	○	○
		1423 子宮頸がん等ワクチン医薬材料費	74,155	82,598	○	○	○	○
		1423 子宮頸がん等ワクチン委託料	41,787	46,363	○	○	○	○
		1423 子宮頸がん等ワクチン接種データ入力委託	335	194	○	○	○	○
1423 子宮頸がん等ワクチン接種費用自己負担金補助金	6,086	1,369	○	○	○	○		
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							